

特集



蒙古の首都ウランバートルは降る降る降る。風で飛ばされる雪の道の上にはほとんど雪はありません。2017年1月、ウランバートル

マイナス20度(最高) マイナス30度(最低) 冷凍庫の中? いいえ、モンゴルの首都ウランバートルの2月10日の気温予想です。ウランバートルは「世界で最も寒い首都」と言われ、冬の寒さは厳しいものがあります。マイナス40度

を下回る日もあるんですよ。写真はマイナス15度の日の街。

恐竜調査隊が行く

岡山理科大学恐竜学博物館館長 石垣忍



第57回

まめちしき 豆知

粉雪は吹き飛ばされ、積もったとしても、水にならずにだんだん蒸発します。ただ、車や

人が踏み固めると道が凍り付いて大変危険。私は何度か転びました。家の前の氷をとる作業は日本の「雪かき」のように大変大事な仕事です。



路面に凍り付いた雪。カチカチで透明。下は私の靴の先=2017年1月、ウランバートル

普通はしない真冬の発掘

ら道端に雪が少し残るくらいなんです。

こんなに寒い冬にはどうして恐竜を掘るなんてできない? はい、普通は秋から次の春にかけて発掘しません。9月下旬には雪が降って氷がはり始め、11月には最高気温が零下に。それから3月までは寒くてとても調査できません。4~5月は砂風の季節で、天候が不安定です。何しろこの砂風で舞い上がったゴビ砂漠の砂が、日本まで飛んで「黄砂」になるほど。寒くなくても調査はたいへんです。というわけで恐竜の発掘

とところで10年ほど前、やむを得ず真冬に発掘が実施されたことがありました。水道工事で地面を掘ったら、恐竜の骨が出てきたのです。工事を夏まで止めるわけにはいかず、真冬に掘らざるを得なかったそうです。この時はモンゴルの科学アカデミー職員だけで発掘が行われました。

出てきたものは大型のテリジノサウルス類などで大変貴重なものでした。寒い時期に苦労したかいがあったというわけです。



冬の日の繁華街。道行く人々の防寒着もいろいろ。2017年1月、ウランバートル

動画で解説 石垣館長の お話はQRコードから。 (QR code)

第3日曜日に掲載